

N1 第 42 课 古典文学爱昆虫的千金 2 (课文)

姫君は、虚飾も排除します。「人間たるもの、すべて自然のままがいいのだ」と彼女は主張し、眉毛を抜き、眉墨で眉を描くといふ当時の女性のような化粧をしない。自然のままの黒々とした眉をしている。お歯黒も面倒だし不潔だからと言ってつけない。現代人からすると、姫君の言うことのほうが科学的で納得できます。でも、当時の常識からは外れている。常識は時代によって異なるのですね。

(山口伸美『日本語の古典』岩波書店による)

大小姐还排除了粉饰。她主张：“作为人类，什么都是自然最好。”当时女性化妆是把眉毛拔了以后用眉粉描眉，大小姐也不这么做。她就是自然状的黑眉毛。她说把牙齿涂黑也觉得麻烦和不干净，所以她不涂。从现代人来看，大小姐说的话更有科学性，能够令人心服口服。不过，这脱离了当时的常识。常识因时代不同而不同啊。